

特別講義

ヒト人工染色体の構築と 利用への試行

岡崎恒子先生

名古屋大学 名誉教授

7月6日（水） 14:45～16:15

理学部5号館 大講堂

岡崎恒子先生は、夫君の岡崎令治先生とともに DNA 複製が不連続におこるというノーベル賞級の発見をされました。その功績は、全ての分子生物学の教科書に”okazaki fragments“として紹介されています。令治先生の死去後も RNA プライミングを始め複製起点について数々の優れた研究を行い、さらにはヒトの動原体クロマチンの研究など優れた研究をずっとされてこられました。今回は来札の機会に学部の学生向けに特別講義をしていただくことになりました。染色体 DNA の不連続複製の解明から、ヒトの染色体の分配機構、複製開始機構のご研究、それらを人工的に組み合わせて構築されたヒト人工染色体、さらに最近行っておられるヒト人工染色体をベクター系として使った応用研究について、また、女性研究者の草分けとしての苦勞、困難に向き合った時、どう考え、どう行動してきたのかについてお話が聞けると思います。講義は公開と致しますので、興味のある方は是非ご来聴ください。

【プロフィール】おかざき・つねこ 昭和8（1933）年6月、名古屋市生まれ。31年に名古屋大理学部卒、33年に同大大学院理学研究科修士課程修了。35～38年、米国のワシントン大とスタンフォード大に留学。40年に名古屋大理学部助手。42～43年、カンサス州立大客員助教授併任。51年に名古屋大助教授、58年に同大教授。平成9年に退官し、同大名誉教授など。ロレアル-ユネスコ女性科学賞（12年）、紫綬褒章（同）、瑞宝中綬章（20年）など。

参考 URL

<http://www.iza.ne.jp/news/newsarticle/natnews/science/480579/>
http://www.brh.co.jp/s_library/j_site/scientistweb/no32/index.html

連絡先 先端生命科学研究院
小布施力史／内線9015